

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：TボンドAZM1000主剤

製品番号 (SDS NO)：M19\_040-1

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：大成ファインケミカル株式会社

住所：東京都葛飾区西新小岩3-5-1

担当部署：機能商品事業部 技術グループ

電話番号：03-3691-3370

FAX：03-3691-3371

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	30 - 40	25068-38-6	7-1279;7-1283
低沸点芳香族溶剤ナフサ	< 1	64742-95-6	9-1691;9-1698;9-1700;9-2578
酸化チタン(IV)	< 1	13463-67-7	1-558
炭酸カルシウム	50 - 60	471-34-1	1-122

危険有害成分

GHS分類区分該当有害成分  
健康有害性シンボル該当成分  
低沸点芳香族溶剤ナフサ  
環境シンボル該当成分  
ビスフェノールAエポキシ樹脂

#### 4. 応急措置

##### 応急措置の記述

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

##### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

##### 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

##### 適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

##### 消火を行う者への勧告

##### 特有の消火方法

炎が火薬類に届いたら消火活動をしないこと。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

##### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防炎服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

##### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

##### 安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

##### 管理指標

管理濃度データなし

## T ボンド AZM1000 主剤

### 許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：ペースト状(白色)

pH：適用外

密度及び/又は相対密度：1.61g/cm<sup>3</sup>

動粘度：40000mPas

動粘性率：24844mm<sup>2</sup>/s

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温、常圧で安定。

混触危険物質

強酸、強塩基

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法：疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (CERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 軽度の刺激性 (CERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002)

呼吸器感受性又は皮膚感受性

感受性[厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感受性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂) cat.1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

発がん性

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン(IV))

## T ボンド AZM1000 主剤

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(低沸点芳香族ソルベントナフサ)

EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

催奇形性データなし

誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

(炭酸カルシウム)

非常に溶けにくい (14 mg/l, 25 C) (ICSC, 2012)

残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODによる分解度: 0% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF ≤ 42(Check & Review, Japan)

土壤中の移動性データなし

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

ビスフェノールAエポキシ樹脂

有害液体物質(Z類)

酸化チタン(IV)

有害でない物質(OS類)

炭酸カルシウム

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

酸化チタン(IV)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

じん肺法

酸化チタン(IV)

環境有害性

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

## 16. その他の情報

GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激

皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

水生毒性-急性 区分 1:H400 水生生物に非常に強い毒性

水生毒性-慢性 区分 1:H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information